



# WORLD MONUMENTS FUND

## 2018 WORLD MONUMENTS WATCH

### NOMINATION GUIDELINES—推薦に関するガイドライン

World Monuments Watch (Watch : ワールド・モニュメント・ウォッチ/文化遺産ウォッチ) は、自然の脅威や社会的、政治的、経済的な変化にさらされ、危機に瀕している世界各地の文化遺産に対し、人々の関心を呼び起こそうとするプログラムです。1996年より隔年で更新されてきており、2018 World Monuments Watch においても、その保存に迅速な対応が求められる文化遺産を特定することを目指します。World Monuments Fund (ワールド・モニュメント財団) の使命は、文化遺産の保存・管理体制を確立するとともに、必要なパートナーシップを醸成し、文化遺産の保全に資する、ということにあります。危機的状況にある文化遺産に対する人々の意識を高め、行動の輪を広げることを目的とする World Monuments Watch は、その使命を象徴するプログラムであり、今日までに、世界中135カ国/地域に所在する790件の文化遺産が、「緊急に保存・修復などの措置が求められている文化遺産 (ウォッチ・サイト)」として選定されました。

この World Monuments Watch では実に多様な文化遺産がウォッチ・サイトとして選ばれます。意図するところは、2年に一度新たに加えられたウォッチ・サイトを通じて、広範に及ぶ文化遺産保全における課題とその解決の可能性に世界中の関心を集める、ということです。単に、当事者による管理がお粗末である文化遺産とか、恒久的に危機的状況にある文化遺産を選定するというものではありません。

#### プログラムの利点・効果

Watch は以下3つの活動領域を通じて文化遺産の保存管理体制を強化することを目指します。

#### ● 問題提起と行動の促進

Watch の結果は、様々なメディアを通じて世界中に広く告知されます。World Monuments Fund は、報道機関やソーシャルメディア、そしてウェブサイトを通じ、また申請者との協働により地域社会の声を広く発信し、国際的な関心を喚起します。このことにより、Watch で選定された文化遺産 (ウォッチ・サイト) に対する関心を高め、法的取り組みや、ステークホルダーとの協力関係の強化、そして開発と文化遺産保存の調和を促すことに貢献します。

#### 2016 World Monuments Watch における活動例

シェーホフ・タワー (ロシア) **Shukhov Tower** : 地域の保存グループが保存活動の一環として、2016年の竣工94周年記念日に無料の散策ツアーと映像上映会を企画。World Monuments Fund と協働し、オンライン **petition** でのタワー保存署名活動を実施。モズレイ・ロード・バス (イギリス) **Moseley Road Baths** : Watch 選定を機に1907年竣工で老朽化が進んだコミュニティプールを次世代に継承していくための保存活動の連携と組織化が進んだ。地域のグループは World Monuments Fund の支援を受け、更に関心を高めて保存支援の輪を広げるキャンペーンを行っている。また7千年の生活文化の面影を残すレバノンのバイルートにある海岸景勝地 **Dalieh of Raouche**

では、開発による喪失から守るために持続的な保存計画を策定し、立法上の措置を求める活動を行っている。

- **地域社会活動**

World Monuments Fund は、ウォッチ・サイト選定を祝し、地域社会の文化遺産保全に向けての主体的取り組みを支援する付随プログラムとして、「Watch Day」という地域社会イベント・デーを設けています。これは、地域社会が文化遺産保全への関わりを強め、地域が一体となり守り、育て、管理していくような体制をつくることを奨励するもので、2018 World Monuments Watch では、このイベント活動に2, 500ドルの補助をする予定です。

2016 World Monuments Watch における地域社会活動の例

ギリシャの古代海底都市 **Pavlopetri** では、考古学者により地域社会の関心が喚起され、地元住民向けにガイド付き海底散策が企画され、Watch Day イベントとして実施された。また、地球上で一番乾燥しているとされるチリのアタカマ砂漠にある地上絵 **Chug-Chug Geoglyphs** では、近隣都市カラマの住民によるサイトツアーと保全の必要性に関する討論会が開催された。そしてキューバの12の教会からなるサンティアゴクーバ・コロニアル教会群 **Colonial Churches of Santiago de Cuba** では、2016年5月にWatch Dayが開かれ、2つの教会にて地元の舞踏会が地域イベントとして開催されるなど、それぞれの文化遺産の保全に向けた地域社会活動がなされた。

- **修復・保存プロジェクト支援**

World Monuments Fund によるウォッチ・サイトでのプロジェクト助成支援は、1996年以来、1億ドル（\$100 million）以上におよびます。また、これに加え、2億4千万ドル（\$245 million）以上の助成支援が各方面より直接ウォッチ・サイトに対しなされています。このように、保存の必要性を呼び掛け国際的な関心を引き起こすことは、国・地方・地元行政からの支援を含め、様々な方面からの助成支援を得る手段となります。

2016 World Monuments Watch におけるプロジェクト例

ネパール大地震で崩壊したパタン・ダルバール広場にあるネパール最古のシャア・ナラヤン寺院 **Char Narayan Temple** 再建プロジェクト。これは、World Monuments Fund が永年支援しているKathmandu Valley Preservation Trust によるプロジェクトで、World Monuments Watch の設立スポンサーであるアメリカン・エクスプレスからの総額百万ドルの助成対象となった5カ所の修復・保存プロジェクトのひとつ。この他、World Monuments Fund の支援プロジェクト例としては、リマ（ペルー）のバランコ地区に建つ19世紀の歴史的建造物 **La Ermita de Barranco** を地元行政と協働で行う緊急修復プロジェクトや、インドでの地元地域社会と Indian National Trust for Art and Cultural Heritage との協働による仏教史上貴重な壁画 **Gon-Nila-Phuk Cave Temples and Fort** 保存プロジェクトなどがある。

## ウォッチ・サイクル

2018 World Monuments Watch で選定されたウォッチ・サイトは2017年10月に公式発表され、その後2年間、当該版ウォッチ・サイトとして掲載されます。

## 推薦文化遺産の要件

古代遺跡、邸宅、公共・商業・産業・工業建築、庭園、公園、文化的景観、歴史的町並みなど、古代から近代など時代を問わず、あらゆる種類の建造物文化遺産が推薦対象となります。文化遺産の所有形態は公的所有、個人所有に関わらず推薦及びウォッチ・サイトとしての選定は可能ですが、個人所有のものは World Monuments Fund よりの助成対象外となります。

既にウォッチ・サイトとして選ばれたことがある文化遺産の再推薦は可能ですが、選考プロセスにおいては、選ばれてから再推薦に至るまでの期間に当該文化遺産を取り巻く環境がどのように変化したのかが主に検証されます。

## 選考基準

推薦書は World Monuments Fund のスタッフ、および独立した文化遺産専門家によりレビューされます。その後、学者、専門家、文化関連組織代表など、文化遺産領域の専門家から成る独立した審査パネルにて選考作業が行われます。この選考プロセスは以下の3つの基準に基づき進められます。

- 文化遺産としての**重要性**
- 文化遺産を取り巻く環境と課題解決の**緊急性**
- 活動計画の**実効性**

## 推薦者要件

個人、政府機関・教育機関・非営利組織や団体の代表など、当該推薦文化遺産を熟知する方であればどなたでも、World Monuments Watch に当該文化遺産を推薦することができます。推薦者は当該文化遺産の法的所有者である必要はありませんが、選考結果の発表までには、所有者に当該文化遺産が推薦されたことが伝えられます。

推薦、レビュー、選考の全てのプロセス期間中、また選考後において、当該文化遺産、推薦者、World Monuments Fund は共に協力し、保存に向けた関心喚起やコミュニケーションを協調して進めることが求められます。推薦事項に関する World Monuments Fund との直接連絡先は推薦者となります。また推薦者には、当該 2018 World Monuments Watch サイトの正式なスポンサーとして、情報更新、広報活動、地域社会活動の促進、そして文化遺産の保全に関する第三者よりの支援を得るように努力することが期待されます。もし World Monuments Fund によるプロジェクト助成支援が行われた場合は、推薦者にはプロジェクト遂行上関わる他の権限者全てと協力し、プロジェクトを監督することが期待されます。

## 推薦プロセス

2018 World Monuments Watch の推薦書は英語記載です。書式はパスワード保護のウェブサイト経由でアクセスできます。もし異なる言語で推薦したい場合は [watch@wmf.org](mailto:watch@wmf.org) にコンタクトしてください。

推薦書は当該文化遺産に関する以下9つの部分から成ります：

### Part A: 推薦文化遺産の基本的情報

名称、所在地、文化財指定や他の保護措置、文化遺産の種類とその活用形態など

### Part B: 歴史と重要性

歴史的経緯、物理的形状、文化的重要性など

### Part C: 課題と可能性

抱える課題、保存により得られる可能性、ステークホルダーなど

### Part D: 活動計画

提案する活動計画とその2018 World Monuments Watch との関連に関する記載

### Part E: 画像情報

推薦文化遺産の写真等のアップロード

### Part F: プロジェクト提案 (オプション)

支援を求める活動計画 (注：支援は確約されてはいません)

### Part G: コンタクト

推薦者情報と推薦文化遺産所有者の連絡先情報

### Part H: 補足資料 (オプション)

推薦事項また提案プロジェクトに関する補足資料

### Part I: 推薦書提出

## 推薦書提出期限

2018 World Monuments Watch 推薦書提出期限は2017年3月1日です。未完の推薦書や期限後提出の推薦は無効です。

推薦書提出手順は以下をご参照ください。

1. このガイドラインをよくレビューし参考までにダウンロードしてください。
2. 2018 World Monuments Watch 用の新しいユーザー認証情報をつくり推薦書式をこのリンクから取得してください [https://fs3.formsite.com/wmwatch/2018/form\\_login.html](https://fs3.formsite.com/wmwatch/2018/form_login.html)
3. 推薦書を記載してください。記載途中でセーブし後で記載を完了することもできます。また各質問の回答における字数制限に注意してください。
4. もしパスワードを忘れた場合は、推薦書のログイン・ページにある“Forget Password?” を押してください。
5. 推薦書の提出は、Part I の“Submit” を押してください。一旦完成した書類を提出したあとは、提出された推薦書を見るのみで、修正したり新たなデータを入力することはできませんので注意してください。

推薦プロセスに関する問い合わせ先：[WMF watch@wmf.org](mailto:WMF_watch@wmf.org)